

MIKATA SHIZUKA THEATRE NOH

第五十一回 テアトル・ノウ 東京公演

能 江口 味方 玄

干之掛

能 土蜘蛛 味方 玄

入違之伝

狂言 吹取 野村 萬斎

仕舞

道明寺 観世 喜正
阿 漕 片山 九郎 右衛門

令和7年11月1日(土)午後1時始

於 国立能楽堂



令和七年十一月一日(土)午後一時始(正午開場)

於 国立能楽堂

第五十一回 テアトル・ノウ 東京公演

能

遊女 武田崇史
遊女 武田祥照
里の女 味方 玄
江口の君の霊

江口 旅僧 宝生欣哉 大鼓 亀井広忠
干之掛 従僧 宝生尚哉 小鼓 成田達志 笛 杉 市和
従僧 宝生朝哉

間 所の男 野村萬斎

後見 浅見慈一 小早川康充 谷本健吾
清水寛二 小早川泰輝 山崎正道
安藤貴康 片山九郎右衛門
鶴澤 光 味方 團

休憩

狂言

吹取 何某 野村萬斎
男内藤 連
女月崎晴夫

仕舞

道明寺 観世喜正

阿漕 片山九郎右衛門

能

地謡 谷本健吾
角当直隆
山崎正道
武田文志

額光 観世淳夫
トモ 小早川康充
胡蝶 味方 梓
土蜘蛛 味方 玄

土蜘蛛 一人武者 宝生欣哉 大鼓 亀井洋佑
入道之伝 立衆 宝生尚哉 小鼓 大倉伶士郎 太鼓 観世結子
立衆 宝生朝哉 笛 杉 信太郎

間 サ、蟹 野村裕基
中村修一

後見 安藤貴康 武田崇史 浅見慈一
清水寛二 小早川泰輝 味方 團
鶴澤 光 武田祥照 観世喜正
武田文志 角当直隆

終了予定十七時過ぎ

ご挨拶

いつもテアトル・ノウ公演をご高覧賜りまことにありがとうございます。
今回『江口』と『土蜘蛛』を上演いたします。

『江口』については、数十年前に奈良宝山寺にて世阿弥自筆の能本を拝見した時の感動が忘れられません。それから数度拝見の機会を得て、つづきに、まさに「匂ぐ」ように拝見して、世阿弥独特の文字、筆圧やタッチにその姿を想像しました。金春殿(禪竹)へ伝える能本で、特に推敲の跡と本文以外のト書きに目が釘付けになったのです。

五音上に「江口遊女 亡父曲 ソレ十二因縁ノ」とあり、現行のクリから曲舞の部分が観阿弥作曲の独立した曲舞謡であつたようです。それに世阿弥が、江口の遊女と西行の歌からこの能を構想、「月は昔の友なれば世の外いづくなるらん(ならまし)」の次第の疑問は、最終部「思えば仮の宿に心とむな」と明かされます。

観阿弥作の部分はそのままに、自身作劇のところは相伝にあたり、考え書き直されています。例えば現行能本には書かれていませんが「ヲカシ(狂言)」の部分で「クワンランノ(観音の)」を「フケンホサツノ(普賢菩薩の)」。クリ前の「イサヤ ナクサマン(いざや慰まん)」を「アソハン(遊ばん)」。最終部、普賢菩薩が西方に赴く「シロタエノ クモノナミニ ウチノリテ(白妙の 雲の波のに うち乗って)」のところは「クモノナミ(雲の波)」を消し「ハクウン(白雲)」として「白妙、白雲」を強調し白い発光体となって西の空に消えてゆく姿を浮かび上がらせます。

ト書きでは「応永卅一年九月廿日 世書」のあとに「シウフウラケツニ(松風羅月に)」「コノジブンヨリタツヘシ(この時分より立つべし)」とあり、「アルトキワイロニソミ(或時は色に染み)」「ココニテ フネヨリイッヘシ(ここにて舟より出すべし)」となっていて、このあたりから舞い出したのかと、曲舞の舞い方(謡い方)の裏打ちが出来た感じでした。(しかも「ココヨリ」は見せ消しにて「ココニテ」と強く言い切る)常に作品をグリードアップさせようとする気概が見え隠れして、世阿弥と対話できるような感覚になりました。

この相伝は応永三十一年。六百年の間、各時代に対応し変化し研ぎ澄まされた『江口』、東京にては初めて勤めさせていただきます。

『土蜘蛛』は新能やホール能で時々上演いたしますが、能楽堂でご覧いただき、切能の鬼の奥深さ、敗者ヘスポットを当てた作品群の醍醐味を感じていただけたらと思います。
なにとぞよろしくお願い申し上げます。

テアトル・ノウ主宰 味方玄



©Akashi Photos

味方 玄 観世流能役者

一九六六年京都にて能楽師・味方健の長男として生まれる。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、片山幽雪(人間国宝に内弟子入門。幽雪(九世九郎右衛門)、十世九郎右衛門に師事。一九九一年独立。二〇〇一年、京都市芸術新人賞受賞。二〇〇二年KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」(全二十八回)を監修、出演する。二〇〇三年新作能「待月」の脚本を手がけシテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇一二年「第四十四回観世寿夫記念法政大学能楽賞」受賞。二〇一三年「第四十二回京都府文化賞功労賞」受賞。二〇一六年淡交社より「能へのいざない」を出版。二〇二二年、重要無形文化財(総合)認定。

国立能楽堂 TEL.03-3423-1331 (代表)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

- JR 中央・総武線 千駄ヶ谷駅 下車 約5分
- 地下鉄大江戸線 国立競技場駅 下車 約5分
- 地下鉄副都心線 北参道駅 下車 約7分



※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

入場料 (全席指定席)

正面席 10,000円

中正面・脇正面席 8,000円

お申込

テアトル・ノウ事務局 TEL&FAX 075-213-1774

ホームページからお申込みいただけます

<https://theatrenoh.com/>

チラシ使用写真/能『江口』味方 玄、能『土蜘蛛』味方 玄 撮影：金の星渡辺写真場

